

発電する街 にいがた

入場
無料

(要事前申込)

定員
150人

資源も、電気も、地産地消へ。
ペロブスカイト太陽電池と新潟産ヨウ素が描く未来——

脱炭素社会への移行が進む今、

再生可能エネルギーはコストや義務という側面だけでなく、

地域産業を飛躍させる可能性を秘めた“チャンス”でもあります。

本シンポジウムでは、次世代太陽電池「ペロブスカイト」と新潟産ヨウ素の融合により、
地産地消のエネルギーと新たな産業創出を目指す新潟の未来像を描きます。

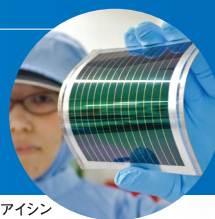
2026年1月21日[水] 13:30-16:50
(受付開始13:00)

新潟日報 メディアシップ2階 日報ホール

新潟市中央区万代3-1-1

ペロブスカイト太陽電池とは…

再生可能エネルギーの柱として期待される日本発の次世代技術。フィルムのように「薄く、軽く、曲がる」特長があり、建材一体型として従来の重いシリコンパネルでは設置が難しかった建物の外壁や、耐荷重の少ない屋根、窓ガラスなどに設置できる。主原料の「ヨウ素」は、日本が世界シェア第2位の産出国で、新潟県は千葉県に次ぐ生産量を誇る。



提供/アイシン

第1部

ペロブスカイトの 現在地と未来

基調講演

ペロブスカイト 太陽電池が拓く未来

～技術開発と用途展開の現状と展望～

講師 東京大学先端科学技術研究センター
教授 瀬川 浩司 氏



1989年 京都大学大学院工学研究科分子工学専攻博士課程修了(工学博士)、京都大学大学院工学研究科分子工学専攻助手、JSTさきがけ研究21研究員、東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻広域システム科学系助教授を経て、2006年より東京大学先端科学技術研究センター教授(現職)。16年より東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻教授。20年東京大学大学院工学系研究科化学システム工学専攻兼任。12年より東京大学教養学部附属教養教育高度化機構環境エネルギー科学特別部門長。専門は、次世代太陽電池と光エネルギー変換(光化学、電気化学)19年科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞を受賞。

企業報告

素材

新潟の資源が、未来を創る

報告者 三菱ガス化学株式会社 エネルギー資源・環境事業部
事業部長 高橋 昭浩 氏

企業報告

製品

技術を、カタチにする

報告者 パナソニックホールディングス
ペロブスカイトPV事業推進室 内田 隆介 氏

第2部

ペロブスカイトを 地域の成長エンジンに

事例紹介

愛知県におけるカーボンニュートラル施策について

報告者 愛知県環境局 地球温暖化対策課
担当課長 松尾 繁展 氏

パネルディスカッション

『発電する街・にいがた』

— 私たちの暮らしと課題を、希望に変えるには —

パネリスト
新潟スワンエナジー株式会社 代表取締役 島村 隆宏 氏
株式会社北村製作所 商品企画部 米本 英喜 氏
新潟市 環境部 部長 小泉 英康
農事組合法人濁川生産組合 代表理事 田村 雄太郎 氏
東京大学先端科学技術研究センター 教授 瀬川 浩司 氏

コーディネーター

新潟日報社 編集局
ニュースセンター
横井 裕

司会

フリーアナウンサー
渡邊 智世 氏

お申し込み
方法

参加ご希望の方は、右記QRの申し込みフォームに
必要事項を記入・送信してください。
参加いただける方には後日
参加案内のメールをお送りします。



※お申し込みの際の個人情報は、当事業の運営にのみ使用いたします。